

第4次行財政改革大綱後期基本方針（素案）に対するパブリックコメントの結果反映について

No	主題	意見内容	市の検討結果	素案への反映
1	補助金・負担金の適正化	各種団体等への補助金など、市民目線で、行政運営のチェックができるようにしていただきたい。	補助金については、より高い効果が得られるよう、交付目的や対象事業、補助率や実施効果などについて再検証し、補助事業の適正化を図っていく。 また、市民参加条例に基づき、市民参加の充実に努める。	素案にて考慮済み
2	受益者負担の適正化	子どもや高齢者が利用する施設、無料で利用できる公民館、地区会館等については、利用者の利便性を考慮し、使用料の有料化はやめていただきたい。	市民負担の公平性の観点から、受益者の適正な負担のあり方について検討し、適正化を図るとともに、これまで受益者負担のないサービスについても、利用状況や事業コスト等の検証を踏まえ、受益者負担の導入を検討していく。	素案にて考慮済み
3	地域の多様な活動主体との連携と協働によるサービスの提供	市民協働推進センターゆめこらぼの運営体制を見直していただきたい。	市民協働推進センターゆめこらぼの運営体制の見直しを含め、最適な実施主体による効果的・効率的なサービス提供ができる仕組みづくりに取り組んでいく。	素案にて考慮済み
4	民間活力の活用促進	民間活力の活用については、経費削減に重きを置くのではなく、行政サービスの性質に応じて柔軟に検討すべき。	民間活力の活用については、経費削減の視点だけではなく、サービスの維持・向上や継続性も踏まえ、最も適した実施主体について検証していく。	素案にて考慮済み
5	成果を重視した組織運営体制の整備と人材育成の充実	より市民目線に立った行政サービスを提供できるような組織体制を構築すべき。	市民ニーズに柔軟かつ機動的に対応できる組織体制の構築に向けて、継続的な組織再編に取り組んでいく。	素案にて考慮済み